

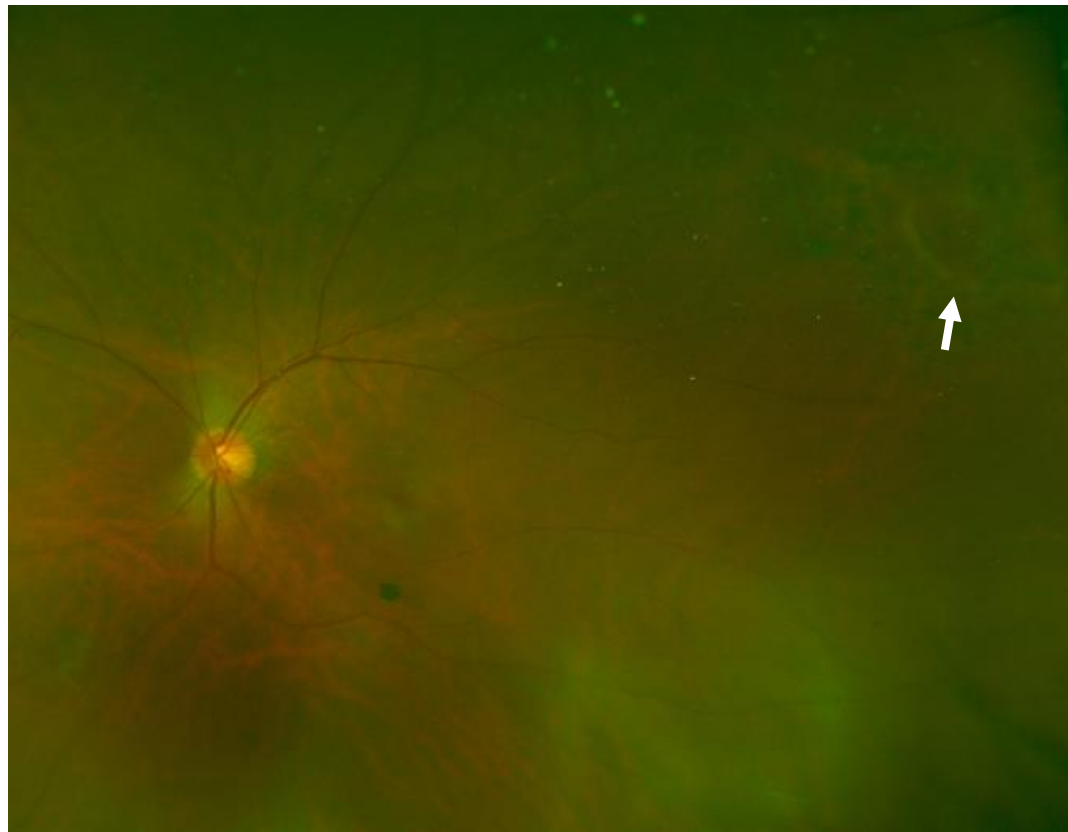
# コロナウイルスワクチン接種2か月半後に繰り返しみられた硝子体出血は高血圧と連動していた

コロナワクチン接種後の硝子体出血は、厚生労働省ホームページの「副反応疑い報告」にもありますが、その因果関係は不明です。\*

糖尿病網膜症などが安定していても、コロナワクチン接種後に硝子体出血が起こることがあり、他方、コロナワクチン接種後に高血圧が起こることもあります。ありふれた硝子体出血と高血圧は別々の副反応として報告されていますが、2つの副反応を結びつける知見はありませんでした。

今回、コロナワクチン接種2回目と3回目の2か月半後に繰り返し、レーザー凝固して安定していた網膜裂孔から硝子体出血をきたした症例を経験しました。硝子体出血の時期に一致して、最低血圧が普段より10-20 mmHg上昇しており、この血圧上昇が硝子体出血の引き金になった可能性があります。

コロナワクチン接種後には、血圧に変化がないかどうかも気を付けることが重要と分かりました。



左眼底写真：レーザー凝固で囲まれた網膜裂孔の下縁を通る網膜動脈（白矢印）から硝子体出血を来たしたと思われる。硝子体出血は自然に吸収された。

眼科 眼炎症（ぶどう膜炎）・腫瘍外来担当 松尾俊彦

\* <https://www.mhlw.go.jp/content/10601000/000796552.pdf>

Toshihiko Matsuo, Hiroshi Noda. Temporal association of vitreous hemorrhage and hypertension after COVID-19 mRNA vaccines. Clinical Case Reports. 2022;10(11):e6657 <https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1002/ccr3.6657>



岡山大学病院  
OKAYAMA UNIVERSITY HOSPITAL

1870